

報道関係者各位

公益社団法人富山県医師会
富山県糖尿病対策推進会議
会長 村上美也子
(公印省略)

世界糖尿病デー関連イベント報道のお願いについて

日頃から富山県医師会の活動にご協力をいただき感謝申し上げます。11月14日は、インスリンを発見したカナダのバンティング博士の誕生日であり、糖尿病治療の画期的な発見に敬意を表して世界糖尿病デーとして顕彰されています。世界糖尿病デーは、世界160カ国から10億人以上が参加する世界でも有数の糖尿病啓発の日となっており、この日を中心に全世界で行われる糖尿病啓発キャンペーンは、糖尿病の発症予防、早期診断、そして適切な治療継続の重要性について一般市民に周知する重要な機会となっています。2023年度も富山県内で11月14日の世界糖尿病デーに関連して数々のイベントが予定されています。その中でも世界糖尿病デーのシンボルである「ブルーサークル」にちなんで、第59回全国糖尿病週間の11月10日(金)から11月16日(木)までの間、県内では富山城をブルーにライトアップ致します。これまでも毎年報道していただいておりますが、今年度も世界糖尿病デー周知のため是非報道で取り上げていただくようお願い申し上げます。

2016年の国民健康・栄養調査では、糖尿病が強く疑われる人、糖尿病の可能性を否定できない人は各々約1000万人、合計で総人口の15%を超える約2000万人の糖尿病患者および予備軍がいると推定されています。しかし、健診で血糖値が高く「要治療」と判定されたにもかかわらず、医療機関を受診していない人の割合は男性の40歳～49歳の働き盛り世代で最も高く、約5割が未治療または治療中断の状態です。

糖尿病は早期に診断して治療を継続しないと失明、人工透析、心血管病、下肢切断など様々な合併症を引き起こします。中でも人工透析の最大の原因は糖尿病性腎症で、医療費も一人当たり年間約500万円かかると推定されています。患者さんの生活面、医療経済の面からも糖尿病性腎症の早期発見と進行予防は重要な課題となっています。このため糖尿病腎症重症化予防は国の政策として行われ、県内の各市町村でも取り組まれています。

近年、糖尿病治療は飛躍的に向上し、正しく治療を受ければ合併症の予防ができ、30年前に比べて日本の糖尿病患者の平均寿命は男性8.3歳、女性で10.2歳延伸しており、一病息災を実現することが可能となりました。また糖尿病への誤解や偏見をなくすためにも県民の皆様に糖尿病を正しく理解していただき、糖尿病患者に対する周囲の理解とサポートが不可欠であると知っていただくことが大切です。そのため啓発活動においては、報道関係者各位のご協力が不可欠です。マスコミに取り上げられることで県民の方々に糖尿病に関心を持っていただき、予防や治療に繋がる契機に成りえます。今年度も11月から世界糖尿病デーに関連したイベントが各地で開催されます。県内イベントの一覧は、富山県医師会ホームページにも掲載しておりますので、県民の皆様に伝わるよう報道を何卒宜しくお願い申し上げます。

問合せ先：富山県医師会事務局 櫻井 (TEL 076-429-4466)

【添付資料】

- ・世界長尿病デーに関連した県内イベント一覧
- ・「世界糖尿病デー」趣旨等
- ・富山県糖尿病対策推進会議について
- ・富山県糖尿病対策推進会議幹事名簿

2023 年度世界糖尿病デー関連イベント《富山県内》 2023 年 10 月 4 日現在

【ブルーライトアップ】	場 所	日 時
	富山城址公園・富山城	11 月 10 日(金)～16 日(木)
	① インテックビル タワー111 ② 富山県美術館	11 月 10 日(金)～16 日(木)
	黒部市民病院 外壁	11 月 14 日(火)
	富山赤十字病院 正面外壁	11 月 14 日(火)
	富山市民病院 夜間入口	11 月 9 日(木)～16 日(木)
	富山県立中央病院 病院出入口、ヘリポート	11 月 14 日(火)
	富山西総合病院正面及び敷地駐車場	11 月 6 日(月)～20 日(月)
	①北陸中央病院屋上(11 月中) ②石動駅周囲(11 月 13 日(月)～17 日(金)) ③クロスランドタワー(11 月 14 日(火))	17:30～21:00

【健康講座・相談会・展示等】開催場所	開催日時	主 な 内 容	主催・共催等
糖尿病教室 [あさひ総合病院 ひすいホール]	11 月 16 日(木) 11:00～15:30	「糖尿病ってどんな病気？」 ●糖尿病と薬 ●糖尿病の検査 ●糖尿病と運動 ●糖尿病と食事 啓蒙活動 糖尿病についてのポスターを作成、掲示(13～17 日)	あさひ総合病院 TEL(0765)83-1160
世界糖尿病デーイベント 2023 [黒部市民病院]	11 月 14 日(火) 終日、昼食時	低カロリーデザート提供、糖尿病情報提供、ブルー飾り、ホームページ、情報誌 下新川郡糖尿病地域連携 PR(共通缶バッジ着用)、コミュニティ放送	黒部市民病院 TEL(0765)54-2211
世界糖尿病デーイベント [富山労災病院 1 階エントラス]	11 月 13 日(月) ～17 日(金) 8:15～17:00	病院前花壇ライトアップ、糖尿病に関する「がんばり川柳」「応援川柳」掲示 糖尿病劇場放映、ブルーゼリーの提供とカード配布	富山労災病院 TEL(0765)22-1280
食育 SAT システムを使用した食事バランス チェック [厚生連滑川病院 1 階内科・外科外来]	11 月 14 日(火) 9:00～11:00	血糖測定、食育 SAT システムを使用した食事バランスチェック ポスター展示「糖尿病とは」(8～14 日) 1 階外来のブルーライトアップ(8～14 日 17:00～20:00)	厚生連滑川病院 TEL(076)475-1000
かみいち総合病院ブルーライトアップ [かみいち総合病院 2 階渡り廊下]	11 月 19:00～22:00	糖尿病週間中の院内ブルーライトアップ 11/18(土)住民公開講座「糖尿病とは」 ガッテン糖尿病	かみいち総合病院 TEL(076)472-1212
富山赤十字病院 糖尿病週間 [富山赤十字病院 2 階やすらぎホール]	11 月 13 日(月) ～17 日(金) 9:00～15:00	公開糖尿病教室、健康相談・栄養相談、ペーパーフラワー装飾、 横断幕、デジタルサイネージ、ポスター展示	富山赤十字病院 TEL(076)433-2222
世界糖尿病デー 2023 展示[富山市民病院 1F 外来廊下] 講座[富山市まちなか総合ケアセンター]	11 月	ブルーサークル・ポスター展示(9～16 日 9:00～17:00) ふれあい健康講座(2 日、7 日、9 日、13 日、14 日 13:30～14:00)	富山市立富山市民病院 TEL(076)422-1112
無料血糖測定会及び糖尿病関連相談会 [ファボーレ富山 ときめき広場]	11 月 18 日(土) 13:00～16:00	無料血糖測定、栄養・運動・薬の体験相談会、バルーンプレゼント 14 日院内イベント 糖尿病についての相談及び無料血糖測定会等	富山西総合病院 TEL(076)461-7700
世界糖尿病デーイベント 2023in 済生会 [済生会富山病院 1 階エントランスホール]	11 月 10 日(金) 8:30～11:30	中庭ライトアップ、ポスター掲示、相談コーナー(医師、栄養、薬剤師)、 血糖測定、運動療法、フットケア	済生会富山病院 TEL(076)437-1111
射水市糖尿病 Day2023 [アイザック小杉文化ホール ラポール]	10 月 15 日(日) 9:30～11:30	特別講演 「おとなの糖尿病教室 ー自分の主治医になる」 金沢大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学教授 篁 俊成先生	射水市医師会 TEL(0766)56-6005
あなたの血糖はどのくらい？無料血糖測定会 イオンモール高岡 イオンホール	11 月 3 日(金・祝) 10:30～16:00	血糖、血圧、HbA1c 測定 医師、管理栄養士などによる健康相談、バルーンアートの提供	JCHO 高岡ふしき病院 TEL(0766)44-1181 高岡市民病院、済生会高岡病院
令和 5 年度ふれあい健康フェスティバル [高岡市民病院]	11 月 12 日(日) 13:00～16:00	血糖測定体験会、糖尿病相コーナー	高岡市民病院 TEL(0766)23-0204
第 13 回ブルーサークル健康講座 [金沢医科大学氷見市民病院 6 階 多目的ホール]	11 月 18 日(土) 13:30～15:30	「氷見市の糖尿病予防の取り組み」「足にやさしく～フットケアのお話～」 特別講演 医療法人社団正名会池田病院 理事長・院長 池田弘毅先生 院内ポスター掲示、氷見市広報掲載、ケーブルテレビ&文字放送予定	金沢医科大学氷見市民病院 氷見市医師会 TEL(0766)72-2135 氷見市
市立砺波総合病院世界糖尿病デー-2023 [市立砺波総合病院 正面玄関ホール]	11 月 14 日(火) 9:00～12:00	糖尿病の病態、治療、合併症についてのパネル展示	市立砺波総合病院 TEL(0763)32-3320
南砺市民病院 世界糖尿病デー [南砺市民病院 1 階フロア]	11 月 14 日(火) 10:00～12:00	パネル展示、資料配布、個別相談(血圧、血糖測定、栄養相談)等	南砺市民病院 TEL(0763)82-1475
糖尿病を知って、未来の自分を守ろう！ [北陸中央病院 エントランスホール]	11 月 9 日(木) 9:30～11:00	ポスター掲示、医師による講義、血糖測定、血圧測定、フットチェック等	北陸中央病院 TEL(0766)67-1150

第59回全国糖尿病週間 2023年11月12日(日)～11月18日(土)

共催/日本糖尿病学会、日本糖尿病協会 後援/厚生労働省、日本医師会、日本歯科医師会、日本糖尿病対策推進会議、日本糖尿病財団、NHK



偏見にNo!
糖尿病のある人は、
あなたと同じ社会で活躍できる人です。

近年、糖尿病の治療は飛躍的に向上し、
一病息災を実現する人が増えました。

それでもまだ、
糖尿病への誤解や偏見のために、
就学や就職、結婚、マイホームの夢を絶たれる人がいます。

一緒に、糖尿病の今を考えてみませんか？



画像はイメージです。

「糖尿病」から、世界共通語の“Diabetes”「ダイアベティス」へ 11月14日 世界糖尿病デー

主催：世界糖尿病デー実行委員会（日本糖尿病学会、日本糖尿病協会）
後援：厚生労働省、スポーツ庁、日本医師会、日本歯科医師会、日本糖尿病対策推進会議、健康保険組合連合会、国民健康保険中央会、日本腎臓学会、日本眼科医会、日本看護協会、日本病態栄養学会、健康・体力づくり事業財団、日本健康運動指導士会、日本糖尿病教育・看護学会、日本総合健康医学学会、日本糖尿病財団、日本糖尿病療養指導士認定機構、鈴木万平糖尿病財団、日本内科学会、日本内分泌学会、日本小児科学会、日本眼科学会、日本臨床内科医会、日本肥満学会、日本循環器学会、日本消化器病学会、日本高血圧学会、日本糖尿病学会、日本糖尿病学会併症学会、日本糖尿病・妊娠学会、日本臨床検査医学学会、日本糖尿病理学療法学会、日本くすりと糖尿病学会、日本老年医学会、日本サルコペニア・フレイル学会、東京都、東京都医師会、東京都糖尿病対策推進会議、日本栄養士会、日本薬剤師会、日本病院薬剤師会、日本臨床衛生検査技師会、健康日本21推進全国連絡協議会、日本健康会議



world diabetes day
14 November

詳細は公式HPをご覧ください
「世界糖尿病デー」ホームページ
<http://www.wddj.jp>

プラチナ協賛： 小野薬品 sanofi Sumitomo Pharma 大正製薬株式会社 Lilly novo nordisk

ゴールド協賛：株式会社三和化学研究所、田辺三菱製薬株式会社

一般協賛：興和株式会社、第一三共株式会社、常々ファーマ株式会社、LifeScan Japan株式会社、テルモ株式会社、アポットジャパン合同会社、MSD株式会社、株式会社おいしい健康株式会社コムラ、サラヤ株式会社、サンスター株式会社、株式会社スズケン、積水メディカル株式会社、ティーベック株式会社、株式会社ニチレイフーズ、ニプロ株式会社、日本生命保険相互会社、日本メドトロニック株式会社、PHC株式会社、ロシュDCジャパン株式会社、アストラゼネカ株式会社、アークレイ株式会社、キッセイ薬品工業株式会社、協和ケリン株式会社、日本ベリンガーインゲルハイム株式会社
(順不同・2023年10月現在)



「糖尿病」から、世界共通語の“Diabetes”「ダイアベティス」へ

今、糖尿病医療の世界は、変わりつつあります。治療の進歩とともに、糖尿病のある人一人ひとりが、病気があっても人生を充実させるためのお手伝いをする、アドボカシーの考え方に基づく医療を提供するという考え方が生まれています。

糖尿病の治療でよく耳にする血糖管理。血糖の自己管理は大切ですが、それが人生のすべてではありません。医療者とともに、二人三脚で病をコントロールできる時代がきているのです。

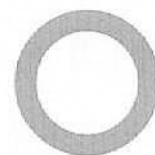
糖尿病があっても、なにひとつやりたいことを阻害されず、自分の夢を実現できる社会。一病息災で、生き生きと暮らすことができる社会。

そんな社会を実現するのは、私やあなたの、糖尿病に対するほんの少しの関心です。正しく知ることは、あなたの健康に役立ち、糖尿病のある人へのやさしい理解につながります。

私たちは、皆さんに協力いただきながら、少しずつ糖尿病の新しいイメージを形づくっていきたいと考えます。

「糖尿病」から、世界の共通語である“Diabetes”「ダイアベティス」へ

あなたも、少しだけ、ダイアベティスに関心をもってみませんか？



world diabetes day

14 November

一般社団法人日本糖尿病学会
公益社団法人日本糖尿病協会

世界糖尿病デーについて

世界糖尿病デー趣旨
世界糖尿病デーとは
世界糖尿病デー国連決議(PDF)
世界糖尿病デー実行委員会

2014 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント

2013 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント
ポスターコンクール

2012 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント
ポスターコンクール

2011 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント
ポスターコンクール

2010 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント
ポスターコンクール

2009 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント
ポスターコンクール

2008 World Diabetes Day

「世界糖尿病デー」について

「世界糖尿病デー」趣旨

2021年現在、世界の糖尿病人口は5億3,700万人に上っており、2045年には約7億8,300万人に達すると試算されています※1。中でも日本が位置するアジア・太平洋地域の患者数の増加は深刻で、2021年は2億600万人と全世界の約1/3の糖尿病患者がこの地域に集中しています。我が国においても、糖尿病と強く疑われる人と可能性を否定できない人の合計は約2,000万人※2に上り、早急な対策が迫られています。

このような状況を踏まえ、国際連合（国連）は、IDF（国際糖尿病連合：現在約170カ国230団体が加盟）が要請してきた「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議」を2006年12月20日に国連総会議で採択しました、同時に11月14日を「世界糖尿病デー」に指定し、世界各地で糖尿病の予防、治療、療養を喚起する啓発運動を推進することを呼びかけました。11月14日は国連及び主要国で様々なイベントが開催されます。我国でも、日本糖尿病学会、日本糖尿病協会が中心となって、各地で著明な建造物をブルーにライトアップして、街頭での啓発活動を実施しています。ぜひ国民の皆さまも世界糖尿病デーのイベントに参加して、ご自分やご家族、大切な人とともに、糖尿病について考え、予防にむけた一歩を踏み出していきたいと思います。

世界糖尿病デー実行委員会

※1 IDF DIABETES ATLAS 10th Edition2022
(International Diabetes Federation)

※2 平成28年（2016年）国民健康・栄養調査（厚生労働省）

世界糖尿病デーについて

世界糖尿病デー趣旨
世界糖尿病デーとは
世界糖尿病デー国連決議(PDF)
世界糖尿病デー実行委員会

2014 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント

2013 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント
ポスターコンクール

2012 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント
ポスターコンクール

2011 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント
ポスターコンクール

2010 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント
ポスターコンクール

2009 World Diabetes Day

全国各地（国内）の関連イベント
ポスターコンクール

2008 World Diabetes Day

「世界糖尿病デー」について

世界糖尿病デーとは

11月14日の世界糖尿病デーは、世界に広がる糖尿病の脅威に対応するために1991年にIDF（国際糖尿病連合）とWHO（世界保健機関）が制定し、2006年12月20日に国連総会において「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議（UN Resolution 61/225）」が加盟192カ国の全会一致で採択されると同時に、国連により公式に認定されました。11月14日は、インスリンを発見したカナダのバンティング博士の誕生日であり、糖尿病治療に画期的な発見に敬意を表し、この日を糖尿病デーとして顕彰しています。世界糖尿病デーは、現在、世界160カ国から10億人以上が参加する世界でも有数の疾患啓発の日となっており、この日を中心に全世界で繰り広げられる糖尿病啓発キャンペーンは、糖尿病の予防や治療継続の重要性について市民に周知する重要な機会となっています。

世界糖尿病デーのキャンペーンには、青い丸をモチーフにした「ブルーサークル」が用いられますが、これは、糖尿病に関する国連決議が採択された翌年2007年から使われるシンボルマークです。国連やどこまでも続く空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」をデザインし、“Unite for Diabetes”（糖尿病との闘いのため団結せよ）というキャッチフレーズとともに、世界中で糖尿病抑制に向けたキャンペーンを推進しています。



世界で5秒に1人の命を奪う糖尿病

糖尿病は今や世界の成人のおよそ10人に1人（10.5%）、5億3700万人が抱える病気です。一般的に死に至る病気との認識は薄いですが、年間実に670万人以上が糖尿病の引き起こす合併症などが原因で死亡しています。これは世界のどこかで、5秒に1人が糖尿病に関連する病で命を奪われている計算となり、AIDSによる死者に並ぶ数字です。ちなみに、国連決議が採択された2006年は10秒に1人でしたから、残念なことに16年間で半分の秒数になってしまいました。。このまま進むと、世界の糖尿病人口は、2045年には約7億8300万人に達することが予想されています。糖尿病患者の増加は特に発展途上国で顕著に見られ、経済成長、生活水準の向上、教育改善の大きな妨げとなっています。

IDFによると・・・

- ・2021年 世界の成人（20-79歳）糖尿病人口は5億3700万人⇒2045年には約7億8300万人に増加と予測。そのうち、50.1%は診断されていない状況です。糖尿病の診断の遅れは合併症発症リスクを高めます。
- ・2021年 世界で670万人が糖尿病の合併症などで死亡しています。
- ・世界の20歳以下の1型糖尿病患者数は、120万人以上、そのうち54%は15才以下となっています。184,000人が毎年新たに1型糖尿病と診断されています。
- ・糖尿病の成人の4人に3人が低・中所得国に住んでいます。
- ・2021年 世界の糖尿病治療と合併症管理にかかる医療費は9,660億USD（約143兆8300億円）となり、15年間で316%増加しました。

全国各地（国内）の関連イベント

ポスターコンクール

2007 World Diabetes Day

全国各地のブルーライトアップ

世界各国のブルーライトアップ

シンポジウム詳細

日本サッカー協会協カイベント

2007テレビ/新聞報道一覧

東京タワーブルーライトアップ

血糖値測定イベント

ダンロップフェニックスイベント

ト

ポスターコンクール

>>トップページ



日本国内での脅威

2016年に実施された糖尿病実態調査※によると、日本には約1000万の「糖尿病が強く疑われる人」が存在します。さらに、「糖尿病の可能性を否定できない人」も約1,000万人おり、合計で総人口の15%を超える約2,000万人の糖尿病患者および予備群があると推定されています。糖尿病の重症化予防のためには早期発見・早期治療が重要ですが、医療機関や健診で糖尿病といわれたことのある人の中で、「治療を受けていない」人の割合は、特に男性の40～49歳の働き盛り世代で最も高く、約5割が未受診または治療中断という状況です。糖尿病には痛みなどの自覚症状が少ないことから、疑いがありながらそのまま治療を受けないケースが多くあることが、その要因と考えられています。

※平成28年国民健康・栄養調査

富山県糖尿病対策推進会議について

糖尿病対策について、積極的に取り組む必要があるとの共通認識により、日本医師会、日本糖尿病学会、日本糖尿病協会の三者で、平成17年2月に「日本糖尿病対策推進会議」が設立されました。平成22年には日本歯科医師会、国民健康保険中央会、健康保険組合連合会、日本腎臓学会、日本眼科医会も加わりました。

その後、各地域においても都道府県等の糖尿病対策推進会議が立ち上がり、「富山県糖尿病対策推進会議」は平成18年3月に活動を開始しました。

富山県糖尿病対策推進会議は、糖尿病の発症予防、早期発見・治療、合併症防止等の糖尿病対策をより一層推進し、県民の健康の増進と福祉の向上を図ることを目的に活動しております。

富山県糖尿病対策推進会議 幹事

任期：2022年4月1日～2024年3月31日

所 属	氏 名	医療機関名
富山県医師会（会 長）	村 上 美也子	むらかみ小児科アレルギークリニック
（副会長）	堀 地 肇	堀地医院
（副会長）	炭 谷 哲 二	炭谷内科医院
（理 事）	金 子 敏 行	南星金子眼科クリニック
（担当理事）	寶 田 茂	宝田内科クリニック
日本糖尿病学会	戸 邊 一 之	富山大学医学部第一内科教授
	臼 田 里 香	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター糖尿病センター長
	蜂 谷 春 雄	高岡駅南クリニック 副院長
	石 橋 修	富山西総合病院病院理事
	大 澤 謙 三	大沢内科クリニック院長
	吉 澤 都	富山県立中央病院内分泌・代謝内科部長
	高 野 敦 子	済生会高岡病院内科部長
	赤 堀 弘	黒部市民病院糖尿病・内分泌内科部長
	藤 坂 志 帆	富山大学医学部第一内科准教授
	島 孝 佑	厚生連高岡病院糖尿病・内分泌代謝内科診療部長
富山県糖尿病協会（総務理事）	平 岩 善 雄	富山赤十字病院長
富山県歯科医師会（会 長）	山 崎 安 仁	
富山県薬剤師会（会 長）	西 尾 公 秀	
富山県看護協会（会 長）	稲 村 睦 子	
富山県栄養士会（会 長）	石 黒 康 子	
富山県厚生部（課 長）	石 崎 智 雄	健康対策室 健康課長
富山県内科医会（会 長）	里 村 吉 威	さとむら内科医院長
富山県透析医会（会 長）	石 田 陽 一	富山市病院事業管理者
富山市保健所（所 長）	瀧 波 賢 治	